２０２２．２．１

ＰＣＲ検査導入とマニュアル改訂について

第６９回県下一周駅伝大会の臨時本部運営委員会を１日、開きました。今大会は「まん延防止等措置法」の適用下でスタートすることになりますが、例年通り、「５日間開催」に向けて準備することを確認しました。また県教委の要請を受け、より安全な大会とするため、選手・スタッフに対しＰＣＲ検査等を以下の通り導入することが決まりました。

**◇ＰＣＲ検査等**

　対象　：　１２チームの選手（最終登録２１人）、監督、マネージャー、監察員

　期間　：　大会参加の３日前以降（２月１６日午前８時以降）

　　　　　　　※検査予約が取れない、結果判明まで時間がかかる、などの理由による場合は５日前以降（２月１４日午前８時以降）でも可とする。

　回数　：　１回のみ

　検査　：　ＰＣＲ検査、抗原定量検査、抗原定性検査

　　　　　　　※県が行っている無料のＰＣＲ検査での受検を推奨する。

　　　　　　　※県のコロナ対策室の見解によると、駅伝参加を理由に無料検査を受検することは問題ないとのこと。

**●検査予約を早急にしてください。**

**●予約を含めた検査のめどについて２月７日（月）までに、事業部に連絡してください。**

合わせて、日本陸連のガイドライン改訂と今日の臨時本部運営委員会で確認した方針を受け、「運営および感染予防対策マニュアル」を改訂しました。マニュアルの主な改訂は以下の通りです。

**【開催の前提条件】＝２㌻上段**

１月６日に日本陸連のガイドラインが改訂され、開催の前提条件が変更になりました。これまでは、開催できる場合は「緊急事態宣言が解除されていること」とありましたが、その項が削除されました。つまり、緊急事態宣言下での開催可否の判断事項がなくなってしまいまいた。

そこで、「緊急事態宣言」と「まん延防止等重点措置」が発出された際の可否判断についての項（第１項）を設けました。また、今回決まったＰＣＲ検査等についての規定を盛り込みました（第２項）。

**【濃厚接触者の待機期間】＝３㌻下段**

　１４日間→１０日間に短縮しています。さらに７日間に短縮される見込みなので、確定したらマニュアルを改訂します。